

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指し、不動産賃貸管理の課題に対応するソリューションサービスを提供

売上高
15,271百万円

営業利益
1,165百万円

営業利益率
7.6%

EBITDA
1,822百万円

② 中長期の経営戦略

1. 営業戦略の推進

新規代理店開拓と既存代理店利用促進、審査基準見直しとAIスコア導入、事業用保証強化、COMPASS拡充

2. 売上原価の圧縮

貸倒引当金抑制、回収体制再構築、弁護士委託早期化、代理店ごとの採算管理見直し

3. 保証DXへの取組

AI・RPA・BPOによる業務自動化、AIボイスボット導入、AIナレッジ一元管理で属人化解消

4. 社会課題解決

家賃債務保証と養育費保証事業を通じて安心できる住まい確保と生活安定支援を推進

③ 対処すべき課題

① 収益性の改善

- ・審査厳格化に伴う承認率低下への対応
- ・貸倒引当金と長期滞留債権の管理強化
- ・売上成長を利益成長へつなげる体質転換

② 業務の効率化と品質向上

- ・手作業・属人的判断の解消による処理品質向上
- ・意思決定迅速性と生産性の向上
- ・社内ナレッジ一元化とマニュアル電子化

③ ガバナンス強化

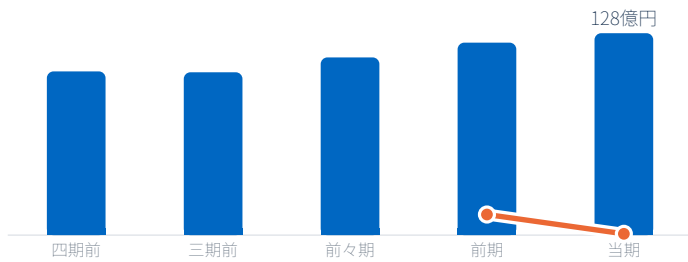
- ・内部統制・リスク管理・コンプライアンス実効性向上
- ・グループ全体のリスク・情報管理体制強化
- ・コンプライアンス意識向上と研修定着

面接で使えるポイント

- ・誰もが安心して暮らせる社会実現に向け、家賃債務保証と養育費保証で社会課題解決に貢献
- ・AIスコア導入やAIボイスボット、保証DXで業務自動化と品質向上を同時推進
- ・Casaアカデミー設立と人材育成体制で専門性向上と働きやすい環境を実現

証券コード 7196

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

東京都に本社を置く金融企業で、家賃債務保証事業を主軸として事業を展開しています

主力事業・セグメント

- ・その他金融業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
128億円営業利益率
▲0.5%財務健康度
25点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 37.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
510万円

その他金融業内 35位/38社

平均年齢
42.6歳

その他金融業内 15位/38社

平均勤続
10.3年

その他金融業内 20位/38社

女性管理職
20.3%

その他金融業内 14位/27社

男性育休
100.0%

その他金融業内 4位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

